

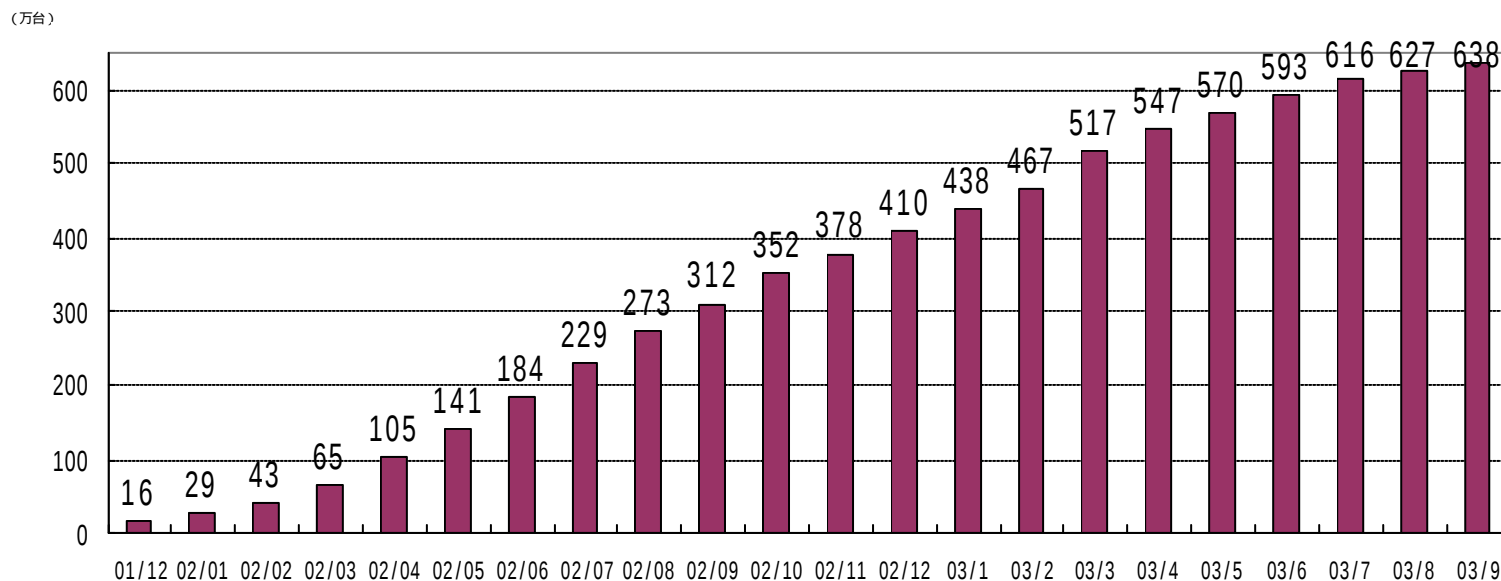
EZナビ利用状況 (1)



- GPS機能付き携帯電話の全稼動台数は約640万台 (2003年9月末現在)

* au全体稼動数1526万台の約40%

図- 1. GPS搭載機種推移



EZナビ利用状況 (2)

- コンテンツサイト数は約130サイト。地図と連携するタウンガイド系が主要となっている。

図-2. GPS機能を利用したコンテンツサイト数の推移

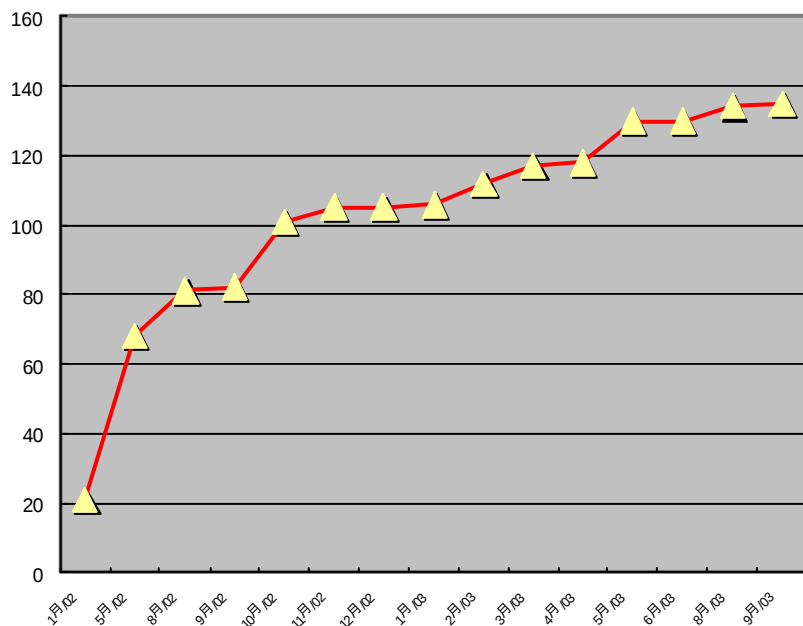
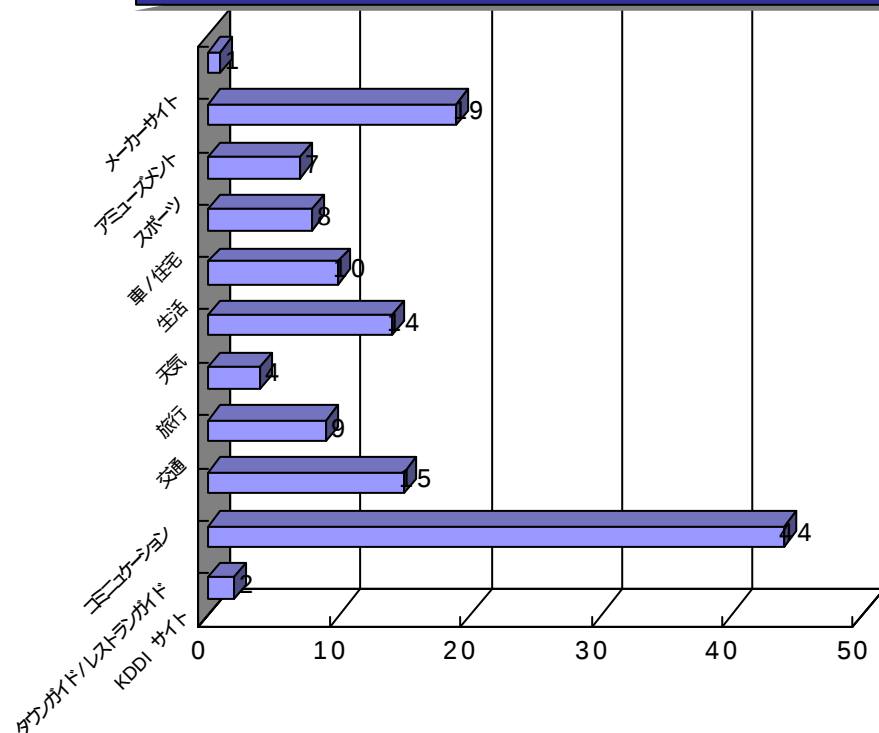


図-3. コンテンツサイトの内訳

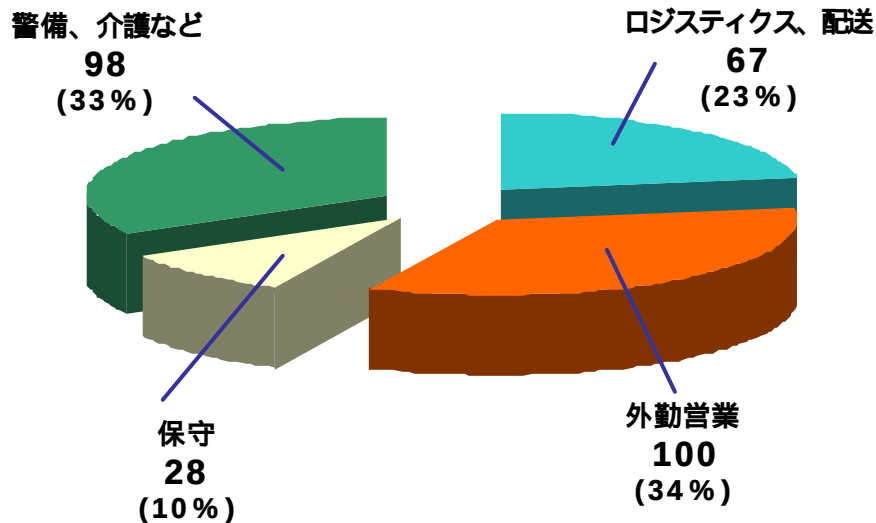


GPSを利用したコンテンツ・サービスの事例

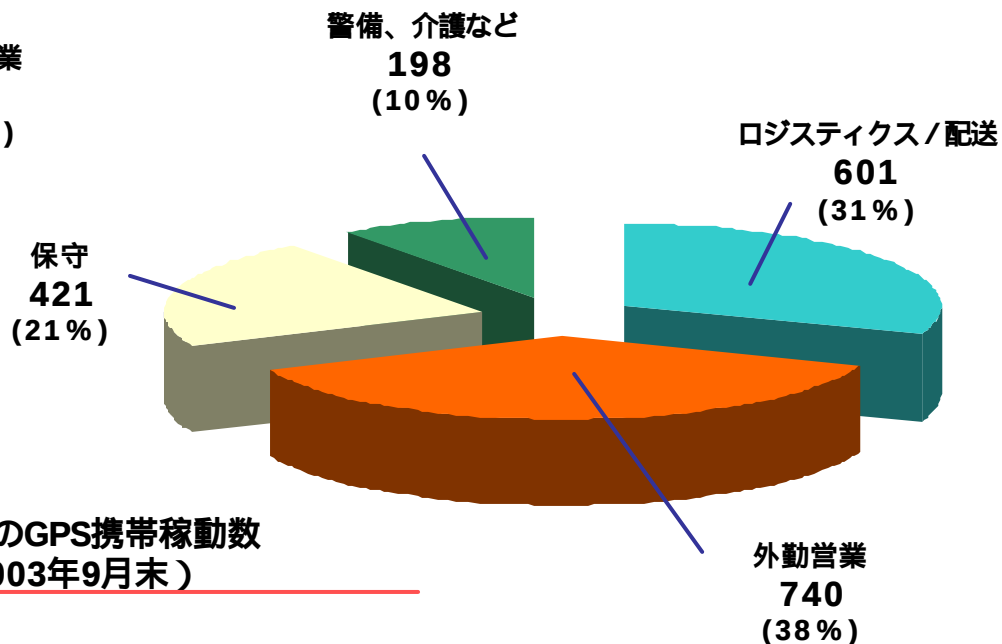


コンテンツ・サービス名	機能分類	内容	提供開始時期
EZナビウォーク	マンナビゲーション	半自律測位により携帯電話版カーナビを実現。その他乗り換え検索などの機能、渋滞情報表示などをあわせた総合ナビゲーションサービス。	2003年10月～
EZお探しナビ	他者位置検索	登録した携帯端末の位置を検索、携帯電話上に地図を表示、PCからも検索可能。家族の居場所などを高精度で検索できる。	2003年4月～
GPS MAP	他者位置検索	法人向けASP型トラッキングサービス。外勤要員の位置把握に便利。サーバーはKDDIで提供するため、独自のシステム構築が不要。	2002年10月～
EZ@NAVI	自位置表示 地図検索	GPS測位による高精度の自位置表示、地図検索、メール連携など。	2001年12月～
ココセコムEZ	他者位置検索	セコム社提供による位置検索サービス。警備員駆けつけ対応など。専用端末によるサービス『ココセコム』も提供。	2001年4月～ (シングル端末)
HELPNETケータイ	緊急通報サービス	公共機関と連携した緊急通報サービス。氏名などの事前登録内容と現在位置をすばやく最寄の関係機関に通報、現場急行を支援。(株)日本緊急通報サービス提供	2002年6月～

法人向けサービス「GPS MAP」の利用状況



ご契約数 :293社 (2003年9月末)



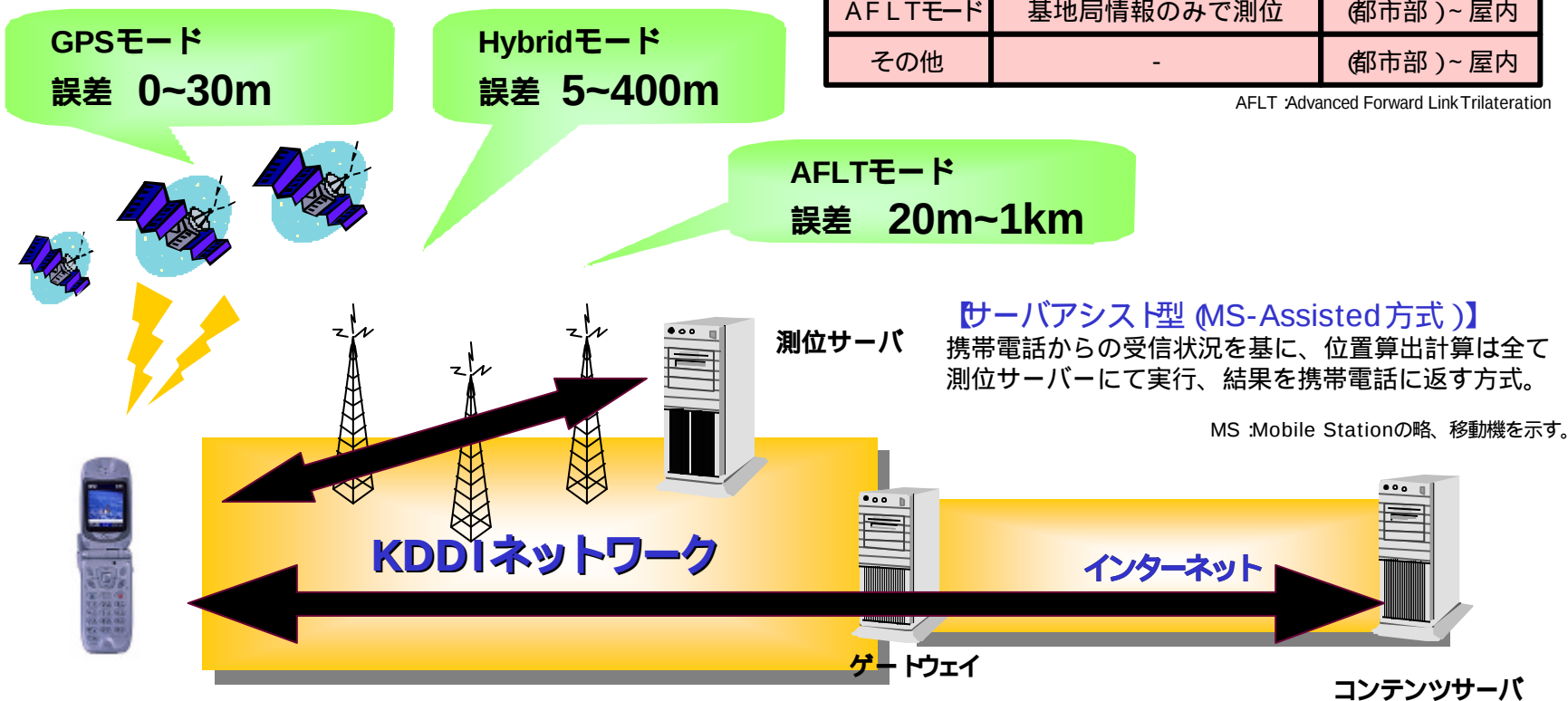
GPSMAPでのGPS携帯稼動数
1,960台 (2003年9月末)

測位システム概要

EZナビ利用エリア 通信圏内であればほぼ全域で利用可能

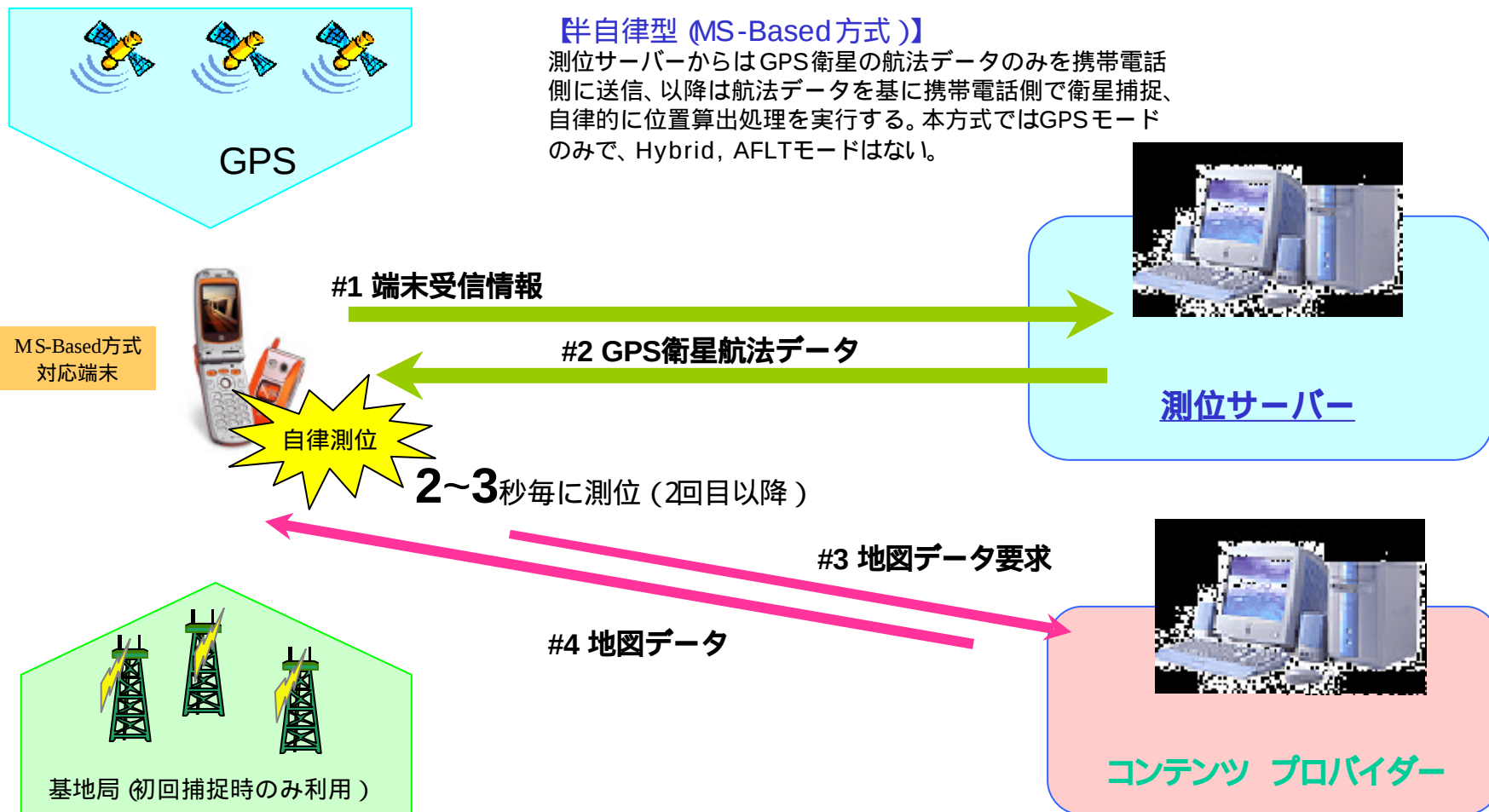
算出モード	算出条件	測位環境
GPSモード	GPSのみで測位	郊外～都市部
Hybridモード	GPS・基地局情報で測位	都市部～屋内
AFLTモード	基地局情報のみで測位	(都市部)～屋内
その他	-	(都市部)～屋内

AFLT :Advanced Forward Link Trilateration



(注) 表記している誤差精度は大体の目安です。測位する環境などによって変動します。

半自律型測位方式の導入



準天頂衛星利用による効果

現状の課題点

都市部 (ビル街) で測位結果がバラツキやすい。

初期捕捉の時間が長い。捕捉支援データ (航法データ 捕捉データ) をサーバーに依存しているため、通信料が発生。

娯楽色の強い利用
(コンシューマ向け)

準天頂衛星導入により期待される改善

測位補完

・利用可能エリアの拡大
・測位精度の安定性向上

・都市部 郊外を問わず、正確な位置測位が可能 (1m以内)

測位補強

・捕捉支援情報配信

・短時間での捕捉が可能となり、ユーザビリティ向上
・通信料の低減化

想定サービス例

● 歩行者ITS

● 災害時誘導ナビゲーション

● 緊急通報時のピンポイント派遣

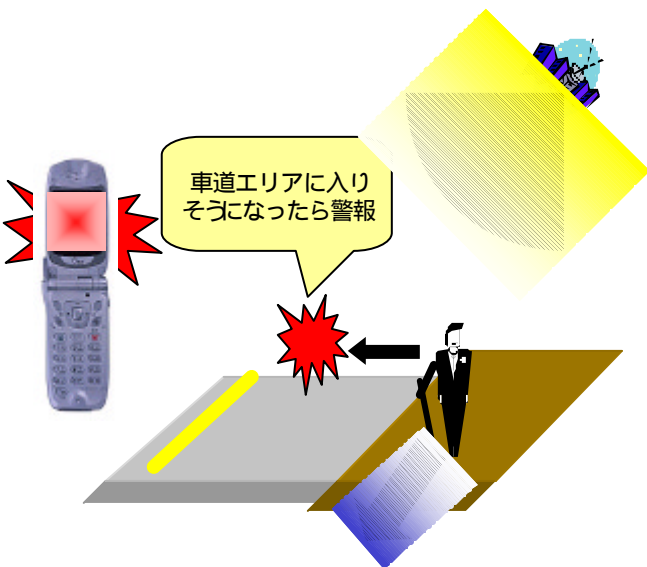
etc.,

厳しい要求条件にも適応
(法人向けの本格活用)

高精度実現により想定されるサービス例

歩行者ITS

高信頼性徒歩ナビ。安全なルートをナビ。
・エリアセンシング併用により、危険エリア進入を防止。
・ヒューマンインタフェースの高機能化、歩行者用地図の整備など周辺環境の整備も必要。
・WLAN/RFIDなど、GPS以外のインタフェースも利用し、総合的に補完。



災害時誘導ナビゲーション

適切な非難ルートをナビゲート。
データベースと連携し、リアルタイムに危険箇所を表示、危険エリアへの進入を防止。
非難シミュレーション時の行動分析に利用。



情報管理・収集センターなど

携帯電話に表示

【その他】

- 駅・車両保線作業などでの危険回避
- 緊急通報時のピンポイント派遣